

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	P a l 教室 U p		
○保護者評価実施期間	2026年1月22日		～ 2026年2月8日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○従業者評価実施期間	2026年3月1日		～ 2026年3月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	8	(回答者数) 8
○事業者向け自己評価表作成日	2026年3月8日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	土曜日に長時間療育を行うことで、お子さま達が平日地域の保育園に通いながら療育を受けることができる。	園の行事などをに合わせて活動を取り入れています。教室で練習したことが園の活動でも発揮できるようにサポートしています。	もう少しお子さま達が通う園との連携をしていきながら、個々の課題を活動に落とし込んでいきたい。
2	作業療法士や言語聴覚士が常駐しており、専門職の目線でプログラムを考えたり保護者の方の相談に乗ったりすることができる。	それぞれの立場からプログラムの立案や個別サポートを行い、お子さま達ができることを増やしていけるよう支援しています。	アセスメントシート等と照らし合わせながら、保護者の方の気持ちに寄り添い心配事を払拭できる説明ができようにしていきたい。
3	教室が広く、職員数も多い安心できる環境で様々な取り組みを行っている。また、児童発達支援から放課後等デイサービスまで	お子さま達が安心して通うことができる環境づくりに努めております。	児童発達支援から放課後等デイサービスまで変わらない環境で、長くご利用いただける教室にしていけるようにしていきたい。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との連携が薄い。	送迎がないためこちらから地域に出向く機会が少ないことも一因。また、開所時間が長く、午前から午後まで常にお子さまをお預かりしているため地域の会合等にも出席しづらいことがある。	地域の方にも教室に来ていただけるような取り組みを実施したい。また時間を作って地域の会合等にも出席できるような体制作りを行っていきたい。
2	年に2回の研修の機会は設けられているが、内容が充実しているとは言いきれない。	P a l 教室全体での研修は教室によって療育内容や教室事情が違い、テーマを絞ってグループ討議を行ってもお互いイメージをすることが難しく結論を出すことが難しいことがあった。法定研修には触れているものの、もう少し内容を深めていきたい。	今後は、研修内容も深めていけるように学ぶ姿勢を大切にしていきたい。
3	口頭で日々の振り返りを行っているが、SNSの活用や動画・写真など保護者の方に分かりやすい発信が行えていない。また、実施した訓練等の報告も行って保護者に伝わっていないことが多い。	SNS等を使うことに対して個人情報の管理に不安がある。	個人情報の取り扱いと肖像権に注意を払いながらSNSを活用できる方法を模索してまいります。